

2023年3月16日
稚内信用金庫
日本政策金融公庫札幌支店

宗谷地域初となる大径材対応工場が4月から稼働 ～農業・漁業と連携し「オール枝幸」で林業成長産業化を目指す～

稚内信用金庫および日本政策金融公庫札幌支店農林水産事業（略称：日本公庫）は連携して株式会社枝幸木材（本社：枝幸町、代表社員：鈴木 正樹氏）の本社工場移転（中頓別町→枝幸町）を支援しました。同社本社工場移転に伴い、同社は枝幸町漁業協同組合や水産加工会社向けに魚類運搬用木箱の供給を開始。枝幸町の漁業との結びつきが強化されます。また、同社は新たに南宗谷農協とおが粉の取引を開始し畜産業とも連携。地域産業活性化に寄与します。

<地域の課題>

当社は1983年に中頓別町で製材業を開始（旧社名：株式会社小頓別木材）し、2004年に木造住宅建築工事に業容を拡大。原木の加工から住宅建築までを一貫して行う南宗谷唯一の企業です。これまでも枝幸町原木（トドマツ・アカエゾマツ）を森林組合等から搬入・製材して道内の木材会社へ販売してきましたが、世界的な木材不足を背景に道産材需要が拡大するなか、中頓別町の旧工場は老朽化が進んでおり、生産能力が不足していました。また、枝幸町においては、利用期を迎える森林（5～11 齢級）が7割を占めるにもかかわらず、1999年には町内最後の製材工場が閉鎖され、新たな加工場が求められていました。

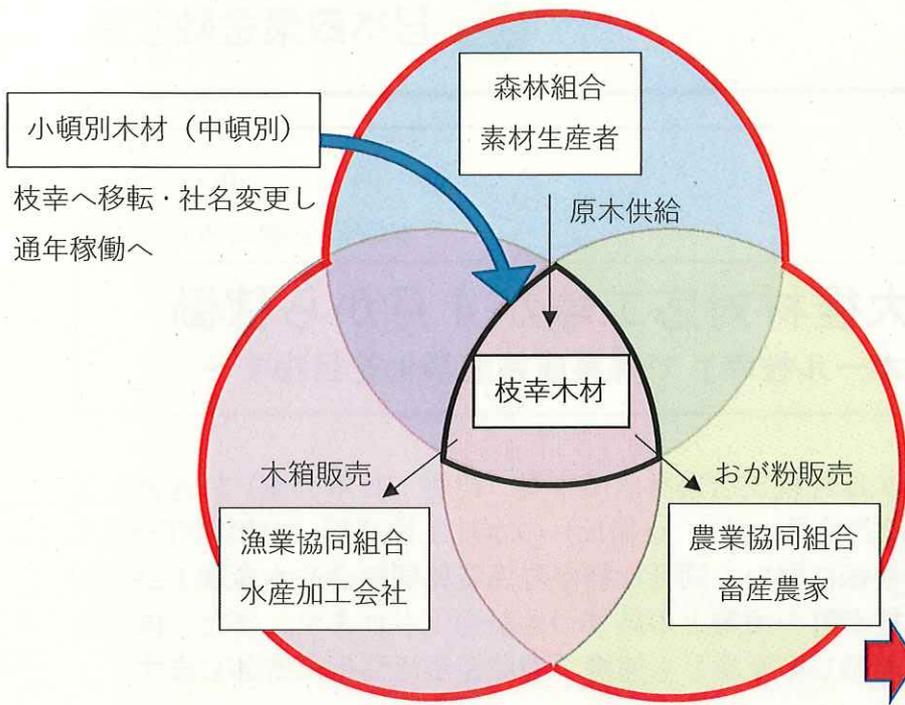
<事業内容>

こうした課題を解決するため、当社は枝幸町に本社工場を移転して生産能力を1.5倍に拡大（2,100 m³/年→3,400 m³/年）。大径材に対応したトリプルソーを導入することで、巾360 mmまでの材を製材することができ（従来は120 mmまで）、カットとカンナ仕上げは約半分の人員で行うことが可能となります。また、内陸部で気温が低く、冬季の稼働が不可能であった旧工場に対し、新工場では通年稼働が可能。加えて、枝幸町漁業協同組合や水産加工会社向けに魚類運搬用木箱を供給します。更に、南宗谷農業協同組合とおが粉の取引を開始（1,500 m³/年）し、地域の畜産業とも新たに連携していきます。当社は、枝幸町への本社工場移転を機に、町、森林組合、農協、漁協と結びつきを強め、官民一体で枝幸町の林業成長産業化を進めます。

<町、稚内信用金庫、日本公庫の支援内容>

この事業に対して、枝幸町は、設備投資への約4千万円の補助に加え、町ふるさと融資（無利子融資）により支援予定。稚内信金及び日本公庫は、本社工場移転建設に必要な設備資金（総額約1億5千万円）を協調して融資しました。

枝幸町、稚内信用金庫及び日本公庫は、今後も地域に根差したネットワークを生かし、地域の多様な担い手が取り組む経営改善に連携して支援を行うとともに、地域の課題解決に貢献してまいります。



新工場外観

「オール枝幸」で林業成長産業化へ

《企業概要》

企業名	株式会社 枝幸木材 (旧社名：株式会社 小頓別木材)
代表社員	鈴木 正樹
所在地	北海道枝幸郡枝幸町南浜町 5188 番 19
設立	1983 年 11 月
出資比率	鈴木正樹 (50%)、鈴木馨 (30%)、鈴木英子 (20%)
事業内容	製材業 (年間製材生産量 2,100 m ³)
事業規模	本社工場家屋、トリプルソー、皮むき機、原木貯蔵場整備、ホイールローダー等

《活用予定の補助事業の概要》

林業・木材産業構造改革事業 (国庫補助事業)
北海道の構造改革プログラムに即し、外材に対抗できる木材の供給体制を推進し森林資源の循環利用を図るため、木材加工流通施設等の整備を支援するために当該設備の導入に必要な費用の一部を補助するもの。
林業・木材産業構造改革事業 (枝幸町補助事業)
国庫補助事業を利用し設備を導入した事業者に対し、必要な費用の一部を補助するもの。
林業機械等導入支援事業 (枝幸町補助事業)
林業成長産業化を支援するため、林業機械の導入に係る費用について、必要な費用の一部を補助するもの。

.....
 <お問い合わせ先>
 日本政策金融公庫札幌支店農林水産事業 Tel : 011-251-1265 (担当：濱野)
 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西二丁目 2-2 北海道経済センタービル 4 階
